



ところじゃ、
錬金術は本当に
不思議なものじゃ。



うですか…
人はこうなっているのが、
錬金術だったのでしょか。



ところじゃ、
錬金術は本当に
不思議なものじゃ。

そうですか…
旅人はこうなっているのが、
錬金術だったのでしょうか。



ここで心海と神子に
会えたなんてね…

そうですね…
たまには八重宮司と
娯楽小説の鑑賞会を
開いたりしますね…

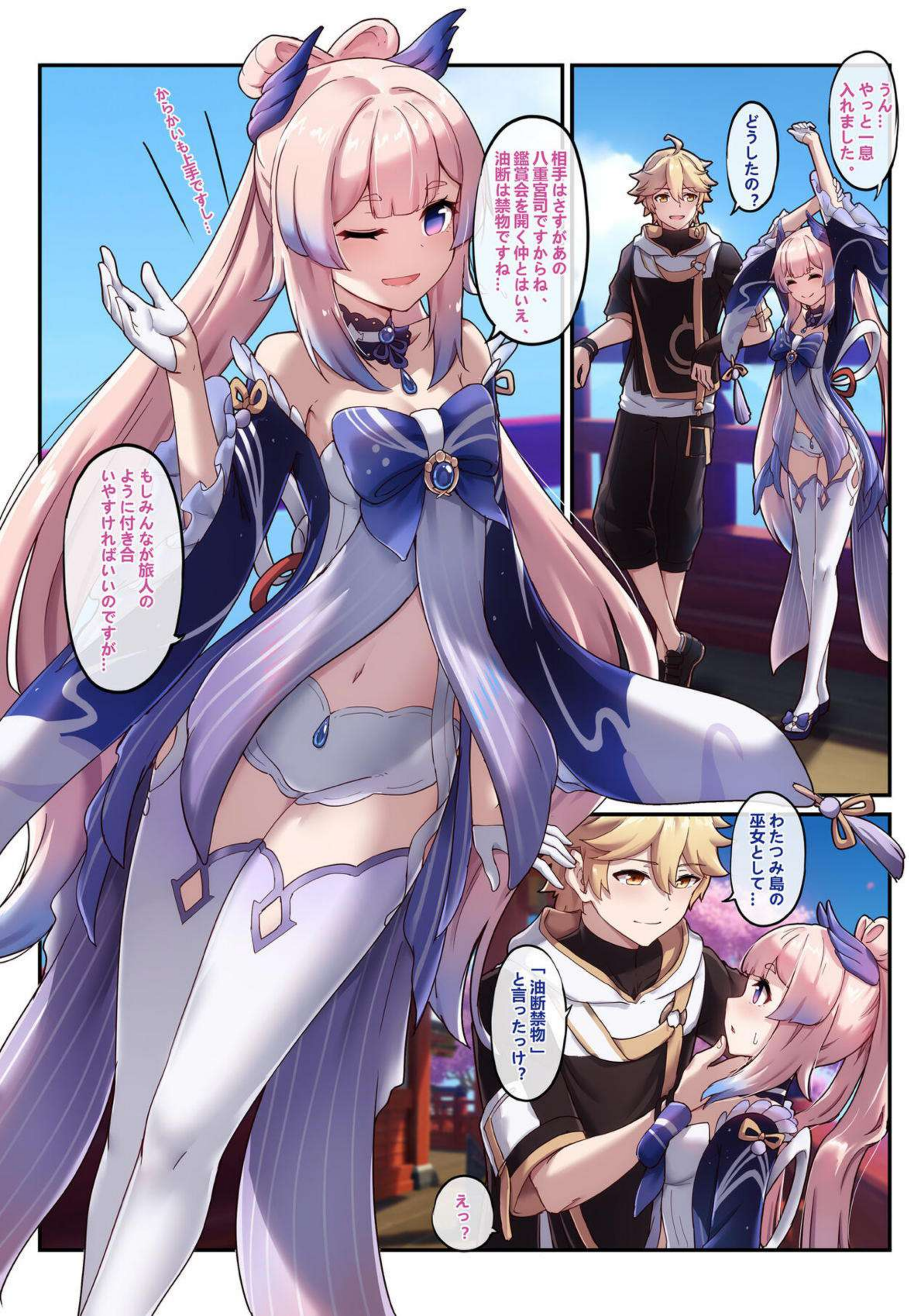


宮司さま、
ご用事を…



ふふ…では、
妾はしばらく
離れるのじゃが…





うん...
やっと一息
入れました。

どうしたの？

相手はさすがあの
八重宮司ですからね、
鑑賞会を開く仲とはいえ、
油断は禁物ですね...

からかじや上手じゃ...

もしみんなが旅人の
ように付き合
いやすければいいのですが...

わたつみ島の
巫女として...

「油断禁物」
と言ったっけ？

えっ？



す…少し待ってください…
ここは鳴神大社ですよ…

ずっと前から心海のこと
が気になって…
心海からだ、柔らかい…

な…何を言っていますか…

不意打ちをかける…
これも兵学の一つだね。

ああ…

触る



ふふ…
良いところで
来ちゃったじゃ…



反撃、
開始します。

痛たたた…

そっちらから攻めてくるのが
嬉しいですが…

欲しければ、
わたつみ島に戻ってからね？





ではもう一回、
心海のおそこに行ってくる！

ふむ：
わたつみ島の軍師さまは、
まさかに二面から挟まれて
しまうのじゃ、
大ピンチなんじゃ…

ふ二人とも、
およしを…



旅人もしかして…
ずっと見る気なんじゃ？

ちよっと…



そんな…

いや…



やわらか



やあ…！



だだめ…
あそこは…



勝手に触ってはいけませんよ、
心を入れてゆっくりと、
優しく触るつもりでいくから。

ポイントがそこ
ではないと思いますが...



待ってください...
旅人...勝手に触って...

ああ...

こんなお社の庭では...
いつ人が来てもおかしく...
ありません...



そんなにびしょびしょで、
やば外でも敏感になるんだ。

そんなことは...
ありません...



入れるよ?

うん...



ほら...
あそこも興奮しているだろう...
何を期待しているのでは...?

旅人がずっと手で触っ
ているからです...



ふむ…胸は一見、
大きくなさそうじゃろうが、
手触りや感触は美によからう…

や…♡

羨む♡



捕まえられた軍師の装備を、
すべて没収するのじゃ。
さあ脱いで。

ああ…♡

そんなこと…
いや…

脱ぐ



二人が一緒に
攻めてきた…いいく…

ゆ油断をしすぎ…
ました…この二人に…

もう…だだめ…

やあ…♡

ハア…♡



お母さん...お母さん...お母さん...お母さん...お母さん...お母さん...お母さん...お母さん...お母さん...お母さん...

お母さん...

お母さん...

おや... 激しすぎなん じゃろう...



舐める



は

ハア...

うんあ...

は

うん...



うん...うんんん...

おや... 激しすぎなん じゃろう...